

# みんなで応援しよう！東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会

## 図書情報館にパラオの特設コーナーを設置しました！

本市は、東京2020大会のパラオ共和国のホストタウンとして、同国からの研修生の受け入れやパラオフェアの開催など、様々な交流事業に取り組んでいます。今回は、ホストタウンであるパラオについて、市民の皆様にもっと広く知っていただけるよう、図書情報館にパラオに関連する本の特設コーナーを設置しました。

特設コーナーには、本市とパラオとの歴史的なつながりの原点であるペリリュー島の戦いに関するものや言語、文化に関するもののほか、駐日パラオ共和国大使館から寄贈された資料や美しい海や自然の写真、また、パラオの食文化等を紹介するレシピ本なども展示しています。

親日国として知られ、世界複合遺産を有する太平洋の楽園「パラオ共和国」について、この機会にぜひ知ってみてはいかがでしょうか。



▲パラオ特設コーナーの様子

## パラオブルーサポーターの高校生が後輩に向けて授業を行いました！

本市のホストタウン交流事業に携わるボランティア「パラオブルーサポーター」に登録している高校生（県立小瀬高等学校生徒3名、水戸啓明高等学校生徒4名）が、それぞれの学校で後輩に向けて、パラオ共和国やサポーター活動について紹介する授業を行いました。

高校生7名は、パラオの観光地、食・伝統文化、言語などを画像を示しながら紹介したほか、これまでサポーターとして活動してきた内容について、ホストタウン交流事業に携わった感想を交えながら説明しました。



▲パラオの食文化について紹介する高校生サポーター（県立小瀬高等学校生徒）



▲サポーターとして活動した内容について説明する高校生（水戸啓明高等学校生徒）

本市では、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、市民の皆様及びパラオ共和国選手団の安全を考慮し、本年6月～7月に予定していた東京2020大会に向けた事前キャンプを中止することが、パラオオリンピック委員会、連携する宮城県蔵王町と三者合意の上、決定しました。今後も、パラオ共和国とのホストタウン交流については継続して行っていきますので、皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。